

企画展プレスリリース

「 のぞいてみよう!!東京美術学校課題画展 」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

1 展覧会名 のぞいてみよう!!東京美術学校課題画展

2 会 期 令和4年12月10日 [土] ~令和5年2月5日 [日]

休 館 日 : 月曜日

(ただし1月2日、9日は開館)、12月29日(木)~1月1日(日)、10日(火)

開館時間 : 午前9時30分~午後5時 (入場は午後4時30分まで)

3 展覧会概要 (資料2~3ページ参照)

明治22(1889)年、現在の東京藝術大学美術学部の前身である東京美術学校が開校しました。文明開化に伴う急速な西欧化に対し、日本独自の美術文化を守り、継承していく必要性を思案していた岡倉天心(1863-1913)は、その中心となって開設・運営に携わり、芸術家たちの育成に奮励しました。

天心ゆかりの地五浦に所在する当館では、東京美術学校の学生たちが授業や入学試験、進級試験等で描いたとされる課題画を2850点所蔵しています。

本展覧会では、当館が所蔵する課題画コレクションの中から、^{りんが}臨画、デッサン、新案といった課題ごとに作品を紹介します。同じ課題に励んだ学生たちの作品から、作者による表現の違いを楽しみいただけます。横山大観をはじめとする同校で学んだ巨匠たちの若き日の研鑽の様子を是非、ご覧ください。

4 出品作品 (資料4ページ参照)



青木繁 《石膏デッサン》

明治33~37年頃(c.1900-04) 当館蔵

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:川島 帆乃夏(かわしま ほのか)/広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/)

企画展「 のぞいてみよう!!東京美術学校課題画展 」

1 展覧会名 のぞいてみよう!!東京美術学校課題画展

2 会 期 令和4年12月10日〔土〕～令和5年2月5日〔日〕

休 館 日：月曜日（ただし1月2日、9日は開館）、12月29日(木)～1月1日(日)、10日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

3 会 場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室A

4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館

5 入館料

一般320（260）円／満70歳以上160（130）円／高大生210（150）円／小中生150（100）円

※（ ）内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方および付添いの方1名は無料

※土曜日は高校生以下無料

6 本展のみどころ

- (1) 横山大観をはじめとする日本画家や、板谷波山や六角紫水^{しすい}などの工芸作家、日本のロマン派を代表する青木繁や海外で活躍した藤田嗣治ら洋画家など、近代美術の各方面で活躍した巨匠たちの学生時代の作品が揃って相まみえる展覧会。特に、当館で展示される機会の少ない洋画家たちの作品をまとめて鑑賞することのできる貴重な機会となっている。
- (2) 本展覧会では、同じ課題に励んだ学生たちの作品を比較展示する。「同じ絵だけどちょっと違う」、そんな作者による表現の違いにも注目して楽しんでいただきたい。同じ教室で隣り合い、語らい、ともに研鑽^{けんざん}しあった学生たちの様子を思い描きながら、巨匠たちの画業の礎石となった「学び」をご堪能ください。
- (3) 五浦の画家たちを中心に、卒業後の作品も紹介する。東京美術学校での学びを経て、画家として成長し活躍していった巨匠らの画業を一緒にご覧いただける。
- (4) 今回展示する作品の数々が初公開となる。美術作家として活躍した巨匠らだけでなく、東京美術学校での学びを活かし、別の方面で活躍した者たちの課題画も展示する。

7 広報文

- (1) 明治22(1889)年、現在の東京藝術大学美術学部の前身である東京美術学校が開校しました。岡倉天心(1863-1913)はその中心となって開設・運営に携わり、芸術家たちの育成に奮励しました。
天心ゆかりの地五浦に所在する当館では、東京美術学校の学生たちが授業や入学試験、進級試験等で描いたとされる課題画を多数所蔵しています。本展覧会では、その中から、臨画^{りんが}、デッサン、新案といった課題ごとに作品を紹介します。横山大観をはじめとする同校で学んだ学生時代の作品から、巨匠たちの若き日の研鑽の様子をご覧ください。(251文字)
- (2) 本展覧会では、岡倉天心(1863-1913)が開設・運営に携わった東京美術学校で、学生たちが描いたとされる課題画から、臨画^{りんが}、デッサン、新案といった課題ごとに作品を紹介します。横山大観をはじめとする同校で学んだ学生時代の作品から、巨匠たちの若き日の研鑽の様子をご覧ください。(126文字)

- (3) 本展覧会では、当館が所蔵する東京美術学校の課題画コレクションの中から、課題ごとに作品を紹介します。
横山大観をはじめとする同校で学んだ学生時代の作品から、巨匠たちの若き日の研鑽の様子をご覧ください。
(98 文字)

8 主な出品作品 制作年順

【課題画】

横山秀麿(大観)	《臨画(維摩)》	明治 22 年(1889)	茨城県近代美術館蔵
藤岡注多良(六角紫水)	《臨画(維摩)》	明治 22 年頃(c. 1889)	当館蔵
板谷嘉七(波山)	《臨画(斉后破環図)》	明治 22～27 年頃(c. 1889-94)	当館蔵
新納忠之介	《新案》	明治 23 年(1890)	当館蔵
青木繁	《石膏デッサン》	明治 33～37 年頃(c. 1900-04)	当館蔵
岡本一平	《写生(海芋)》	明治 38 年頃(c. 1905)	当館蔵
高橋昇太郎(五山)	《図案》	明治 39 年頃(c. 1906)	当館蔵

【卒業後の作品】

木村武山	《春暖 古面蘭陵王》	昭和 7～10 年頃(c. 1932-35)	個人蔵
中澤弘光	《水郷より筑波遠望》	昭和 30 年代(c. 1955-64)	茨城県近代美術館蔵

9 会期中のイベント

すべてのイベントは事前の申込みが必要です。申込方法は次のいずれかの方法をお選びください。
ただし、イベントごとに選べる申込方法が異なりますのでご注意ください。

・ウェブによる申込フォーム

ホームページの URL、または各種チラシの QR コードを読み込み、必要事項を記入してください。

・往復はがき

①イベント名及び開催日、②申し込む方のお名前、③日中連絡のとれる電話番号、④メールアドレス(任意)を記載し、下の宛先までお送りください。

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
茨城県天心記念五浦美術館 ○○(△月◇日)係

・来館による申込み(総合受付または情報ライブラリー)

その場で申込書をご記入ください。

(1) 展覧会担当による作品解説

- ・日時：12月17日(土)、1月15日(日) 各日午後1時30分～(約30分)
- ・会場：講堂(各日定員57名)
- ・申込方法：当日整理券 ※参加無料

(2) 年忘れ! 五浦寄席

- ・出演：二松亭ちゃん平(社会人落語家)、相模亭とげ蔵(社会人落語家)
- ・日時：令和4年12月25日(日) 午前11時～、午後2時～(約45分)
- ・会場：講堂(各回定員57名) ※要事前申込(抽選制)、要企画展チケット
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき

(3) 新春邦楽コンサート

- ・出演：鈴木 貴之 (和太鼓)
- ・日時：令和5年1月7日(土) 午前11時～、午後2時 (約40分)
- ・会場：エントランスロビー (各回定員70名) ※要事前申込(先着順)、要企画展チケット
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき

(4) 課題画に挑戦！

- ・日時：令和5年1月21日(土)、22日(日) 各日午前10時～午前11時
- ・会場：講座室(各日定員10名) ※要企画展チケット
- ・申込方法：当日整理券

(5) 日本画実技講座

日本画家を講師にお迎えし、日本画体験実技講座を実施します。

- ・講師：仲 裕之 氏 (日本美術院 特待)
- ・日時：令和5年1月28日(土)～29日(日) 午前10時～午後4時
- ・会場：講座室
- ・対象：2日間参加できる方(10名) ※要事前申込(抽選制)
- ・参加費：あり ※企画展チケットと材料費が必要です。
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき

(6) 映画会

200インチの大画面で懐かしの名作などを上映します。

12月11日[日]：「サンタクロースになった少年」(2007年/カラー/フィンランド)

1月8日[日]：「エルミタージュ幻想」(2002年/カラー/ロシア・ドイツ・日本)

- ・各日午前10時～
- ・会場：講堂
- ・定員：57名 ※参加無料、要事前申込(先着順)
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館(情報ライブラリー)

10 感染症拡大防止について

当館では、感染症拡大予防として次のような取り組みを行っています。

- マスク着用のうえ美術館入口での検温および手指の消毒(消毒液は館内数か所に設置しています。)
- ソーシャルディスタンス確保のための展示室内に滞在する人数の制限
- イベント参加人数の制限、イベント参加者の把握(一部)

【広報用図版】 ※表紙の青木繁「石膏デッサン」も提供可能です。

① 「臨画」 お手本を見て写す



横山秀麿(大観)
《臨画(維摩)》
明治22年(1889)
茨城県近代美術館蔵



藤岡注多良(六角紫水)
《臨画(維摩)》
明治22年頃(c. 1889)



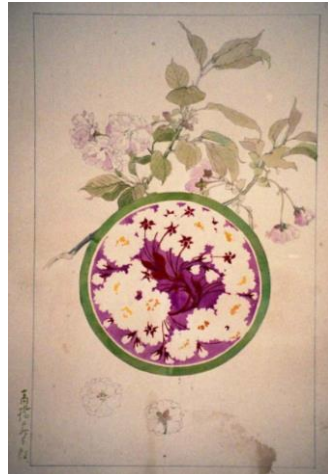
板谷嘉七(波山)《臨画(齐后破環図)》
明治22~27年頃(c. 1889-94)

② 「写生」 実物を見て描く



岡本一平《写生(海芋)》
明治38年頃(c. 1905)

③ 「図案」 デザインを考える



高橋昇太郎(五山)《図案》
明治39年頃(c. 1906)

⑤ 「卒業後」 学びの成果



木村武山《春暖 古面蘭陵王》
昭和7~10年頃(c. 1932-35)
個人蔵

④ 「新案」 完全オリジナル!



新納忠之介《新案》
明治23年(1890)

※図版使用に際しての注意

- ・ 展示会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
 - ・ 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
 - ・ 図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
 - ・ 図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んで
リクエストしてください。



※所蔵の記載が無い作品は全て茨城県天心記念五浦美術館蔵



【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL: 0293-46-5311 FAX: 0293-46-5711

E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展示会担当: 川島 帆乃夏 / 広報担当: 大津 友美

当館HPへ

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。